

# 妊産婦健診助成について

(2010年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
0	愛知県	<p>妊産婦の健診に関する財源は、平成10年度から市町村への地方交付税措置として一般財源化され、各市町村の実情に応じた取組みがなされてきました。平成21年1月からは地方交付税及び国交付金により、妊産婦健診の公費負担が従来の5回から14回に拡大され、平成21年度からは、すべての市町村で14回の妊婦健診を実施しております。</p> <p>本制度については、平成22年度末までの時限措置であることから、引き続き円滑に事業を実施できるよう、国へ財源の確保について要望しているところです。</p>
1	名古屋市	<p>本市では、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、委託した医療機関で、一定の項目について公費負担で健康診査が受けられる妊婦健康診査を実施しています。</p> <p>平成21年4月から公費負担する回数を、5回から14回へ、拡充を実施したところです。</p> <p>産後健診の公費負担については、多額の経費を要することもあり、今後、国の動向や本市の財政状況などを総合的に見極めながら、慎重に検討してまいりたいと存じますので、ご理解賜りたいと存じます。</p>
2	豊橋市	<p>妊婦健診は産前14回を公費負担としており、検査項目については今後も検討していきたいと考えております。</p> <p>また、母子健康手帳交付前の初回健診及び産後健診については、勉強していきたいと考えております。</p>
3	岡崎市	<p>平成21年2月から、妊婦健診公費負担の回数を、7回から14回へ拡大しました。また、里帰り等で県外健診の方へは、償還払いで対応し、助産所での健診も基本健診分の受診を補助対象としています。初回の健診及び産婦健診の公費助成については、県内で実施している市町村も限られており、今後とも、国の施策や他の中核市、県内の状況などを動向をみながら、助成のあり方を考えてまいります。</p>
4	一宮市	<p>妊婦健診については、国の補助制度に合わせて、妊婦届出以降14回の公費負担をしております。</p> <p>産婦健診については、生活保護や市民税非課税世帯の方への助成制度をもうけております。</p>
5	瀬戸市	<p>平成21年度から妊婦健診の助成回数を14回に拡大したところです。今後の助成拡大につきましては、国の動向や他市の状況等を勘案し、検討していきたいと考えています。</p>
6	半田市	<p>妊婦健診については、初回を含め妊産婦健康診査を公費で14回実施しています。産婦健診についても、1回分を公費負担しております。</p>
7	春日井市	<p>昨年の14回分84,720円から22年度は内容を厚生労働省の指針に合わせ充実し、費用も101,950円に引き上げ、妊娠出産時の健康管理を図っているところです。</p> <p>産後健診の助成については、今後の動向を見守っていきます。</p>
8	豊川市	<p>妊産婦の健康診査については、平成21年度から産前14回分を公費負担としております。産後健診の公費負担はおこなっておりません。また、里帰り出産等の県外での健康診査及び助産院での健康診査についても償還払いによる公費負担としております。今後の拡充については、近隣市町の実施状況を参考にしながら検討をしていきます。</p>
9	津島市	<p>妊産婦の無料健診につきましては、国の指針に基づき14回の助成を行っています。今後につきましても、国の指針、また、県、各市の状況等を把握し、検討してまいりたいと考えています。</p>
10	碧南市	<p>現在妊娠初期における初回の検査を含め、国が示している標準的な健診を14回分の受診票を交付しています。国が示している標準的な健診項目については、平成22年1月受診分から県下統一単価で公費で行えます。また、産後健診については、受診率の状況から助成の必要はないと考えています。また、費用的に平成23年度から妊婦健診の交付金もなくなる可能性があることから、新たな助成は考えていません。</p>

市町村名		「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
11	刈谷市	平成20年度より妊婦健康診査を14回に、21年度から産婦健康診査の1回を実施しています。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	初回の健診を含め、産前14回、産後1回の健診を健診指定項目について無料で受けられるようになっています。
14	西尾市	※文書回答なし
15	蒲郡市	公費負担による妊婦健康診査は21年度から産前14回とし実施していますが、23年度については未定です。
16	犬山市	妊婦健診は、平成21年度から公費負担回数を14回まで拡大実施しています。産婦健診については、国等の動向を注視しながら検討していきます。
17	常滑市	平成22年度は、県内市町村と歩調を合わせ、産前14回、産後1回の助成をしていきます。来年度以降については、原則、国庫補助があれば22年度と同じ内容で助成していきたいと考えています。
18	江南市	妊産婦健診は、産前14回、産後1回を公費助成しております。助成は、医療機関で妊娠届出書の発行を受けた以降の健診分を対象としています
19	小牧市	妊婦の無料健診制度については、平成21年1月27日以降、国の示した健診内容で、14回を実施しております。なお、産後健診については現在のところ実施する考えはございません。
20	稲沢市	当市では、昨年4月から妊婦健診助成を14回に拡大しております。今年度から県下59市町村で足並みを揃え、国の標準とされる内容に充実をしております。
21	新城市	妊婦健診については、初回の健診を含めて産前14回実施しております乳児健康診査も2回実施しております。 平成22年度から超音波検査と子宮頸がん検診を追加しております。(超音波検査4回・子宮頸がん検診1回)
22	東海市	本市では、平成21年度から産前14回について補助を行っております。産後1回の補助については平成19年度から実施しています。 公費負担となる健診項目については、県下統一を図っております。
23	大府市	既にご要望の内容の通り実施しています。
24	知多市	現在、妊産婦健診として、子宮頸がん検診と、産前に14回、産後1回の健診に対して無料で受診できるように助成を行っております。
25	知立市	産後1回は平成20年4月から、産前の14回は平成21年2月から無料で助成しています。
26	尾張旭市	妊産婦健診は、現在14回公費負担にて健診を実施しており、平成22年度からは、血液検査項目の増加、超音波4回、子宮頸がん検診と内容が充足されております。また産後健診につきましては、今後も厚生労働省が示す考え方等を参考にしながら検討して参りたいと思っております。
27	高浜市	妊婦健診は14回行っております。
28	岩倉市	平成21年2月から妊婦健康診査の公費負担回数を14回に増やし、現在は、14回無料で受けられます。
29	豊明市	産後の健診は今のところ予定しておりません。
30	日進市	平成21年度から14回、22年度から検査項目を調整し14回＋子宮がん検診を加え、該当項目について無料となるよう実施しています。回数の継続確保に努力しています。産後健診については検討していません。
31	田原市	産前健診は14回の助成をしております。産後健診については、近隣市の状況を踏まえ検討していきます。
32	愛西市	平成22年度から妊婦健診は14回、無料で受けられるよう助成しています。平成23年度以降については、愛知県内市町村と統一した検査内容、委託料で行えるよう調整を進めているところです。 なお、産後1回の健診無料化については、現状では予定をしていません。

市町村名		「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
33	清須市	現在、産前についてのみ14回まで無料としています。初回健診の無料化は考えていません。
34	北名古屋市	平成22年2月から妊婦健診は、14回に拡大しています。国の補助金は平成22年度までとなっており、仮に平成23年度補助対応されたとしても将来的には市の全額持ち出しとなることも踏まえると、財源確保が厳しい現時点では産後健診への補助は大変難しい現状です。
35	弥富市	当市の妊産婦の公費による健診は、現在産前14回実施をしております。尚、産後は、行っていませんが、乳児に対し2回実施しています。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	今年度から超音波検査の年齢制限を廃止し、4回に拡大しました。今後につきましても国の指針または県内市町村の状況を把握し、検討していきます。
38	東郷町	妊産婦健診は、産前14回を無料で実施済。産後1回は考えていません。
39	長久手町	平成21年度から産前の妊婦健診は、14回に拡大しました。平成22年度からは超音波検査を4回実施しています。産後健診については、現在のところ予定していません。
40	豊山町	妊婦健診の助成を、初回を含め14回実施しています。
41	大口町	産前健診の無料回数は、21年4月から14回に拡大しさらに22年4月からは子宮頸がん検診を始めとした国の示す検査項目を公費で拡大をしましたが、産後健診の実施は考えておりません。
42	扶桑町	妊婦健診についての町の助成については、考えておりませんが、助成の拡大、恒久措置となるよう国に対し、機会をとらえ要望していきたいと考えています。
43	大治町	産後については、今のところ実施する予定はありません。
44	蟹江町	厚生労働省の通知のとおり14回の妊婦健診と16週未満の子宮がん検診を実施しています。
45	飛島村	平成20年度より、妊産婦健診は、産前14回、平成21年度より産後1回を無料実施しています。
46	阿久比町	現在、妊婦健診14回、産婦健診1回、乳児健診2回を実施しています。
47	東浦町	妊婦健診は、平成19年度より産後を1回、平成21年度より産前を14回に増やし無料健診を実施しています。 平成22年度からの超音波検査は年齢制限をなくし、回数も1回から4回に増やし、子宮頸がんの無料検診等の内容充実をしています。
48	南知多町	平成21年度から妊婦健康診査を5回から14回に増やし、産婦健康診査を新規で1回実施していますので、すでにご提言のとおりになっています。
49	美浜町	平成21年度より、産前14回、産後1回は契約している内容を無料で受診できるよう助成している。
50	武豊町	昨年度から引き続き、県内の医療機関において無料で受診できる妊婦健康診査受診票を14枚、産婦健康診査受診票を1枚交付しています。 また、里帰り出産などで県外へ行かれる妊産婦への対応として、償還払い制度も実施しています。
51	一色町	平成21年4月より産前14回受診助成実施。産後の受診については予定なし。超音波検査については、35歳以上の方について1回助成。
52	吉良町	今後、財政事情を勘案し検討します。産前の検診については、原稿でも14回実施しています。
53	幡豆町	産前14回は実施。産後は合併後1回実施予定。
54	幸田町	妊婦健診は、平成21年度から産前14回の公費負担をしています。産後健診については、県下、近隣市町村の状況を踏まえ検討したいと思います。
55	設楽町	妊産婦健診は産前14回まで無料であり、かつ超音波検査には検査費用5,300円(全額)×4回の補助を行っています。
56	東栄町	産前14回を無料としている。出産準備金を5万円支給している。
57	豊根村	※文書回答なし